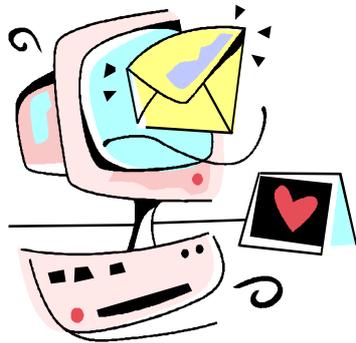


出会い系サイトのカード決済トラブル

＜事例＞ パソコンから懸賞サイトに応募したところ、出会い系サイトの広告メールが入ってくるようになった。無料ポイントがついていたのでその範囲だけのつもりで登録した。登録後、女性から「会いたい」というメールが届き始めた。無料のポイントはすぐに減っていった。ポイントがなくなりかけた時、相手の女性から「会ったときに50万円をあげる」と言ってきた。女性に会うまでと思い、ポイントの購入をし、支払いはカードで行った。ところが＜会う＞という具体的な話は一向に進まず、たわいもないやりとりでポイントがなくなり、その都度購入したのでカード会社から高額な請求書が届いた。しかし女性とは会えなかった。

＜対応＞ 援助交際まがいの約束は、公序良俗に反する。こういった内容をクレジットカード会社が「カード利用代金」という名目で請求するのは問題であるとする。相談者に対しカード会社と決済代行業者に、契約に至った経緯と支払いを拒否する通知書を送付するよう助言した。

—— クレジット決済について ——



出会い系サイト業者がカード会社の加盟店になることは難しいため、サイト業者とカード会社の間に決済代行業者が入っている。決済代行業者はカード決済の手続きを行っている業者である。

カード会社からのカード代金請求書にサイト業者名ではなく、決済代行会社名が記載されている。また、海外のカード会社の加盟店になっているケースもあり、その場合は請求書に【現地通貨額】や【円換算レート】が記載されている。